

主催：名古屋市



参加無料

プログラム参加者には  
12,000円(交通費相当)の  
マナカチャージ券を支給

名古屋市では、市が抱える社会課題に向き合い、解決に向けて行政と一緒に考え、取り組んでくれる学生の皆さんを募集します。  
プログラムの活動期間中は、専門コーディネーターのサポートのもと、名古屋市役所の関係部署と連携しながらチームで課題解決に取り組みます。

なごや  
学生  
社会課題  
解決  
プログラム

名古屋のミライを創るのは、キミだ。

応募受付中

8.12(金)  
まで!

参加学生  
募集中!



募集対象

- ・名古屋市内の大学等(大学(大学院含む)・短期大学・専修学校の専門課程)に在籍する学生
- ・大学等に在籍する、名古屋市内に在住の学生(市外の大学等含む)

募集人員 **30名**

※応募者多数の場合は選考により決定します。

応募方法

以下のURLから参加申込  
<https://gakusei-town.nagoya/board/volunteer/entry-2508.html>

スマートフォンは  
こちらから



# MISSION

## アイデア求む！ —名古屋の4つの社会課題—

プログラムでは、チームに分かれて  
以下の4つの課題解決に取り組みます。

### スケジュール

#### 2022年

8月12日(金) 参加申込締切

9月 2日(金) キックオフイベント

9月～12月 プログラム活動期間

#### 2023年

2月中旬予定 成果報告イベント

### 課題1

#### 若い世代に 市政情報を 届けたい！



ありとあらゆる情報があふれる現代社会。若い世代にも知ってほしい名古屋市の市政情報を、どんな手段で、どんな形で届けたい？  
実際の広報・啓発事業に取り組みながら、これからの市政広報のあり方を一緒に検討します。

### 課題2

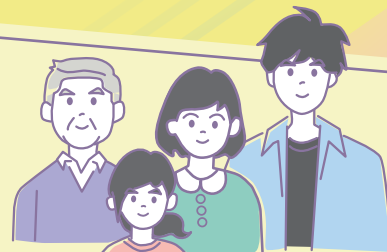
#### 「若い世代が 住みたくなるまち」って どんなまち？



名古屋市では、大学への就学期・就職期の若者が東京圏へ流出する傾向が続いています。  
若い世代が、住み、働きたいまちってどんなまち？魅力と愛着を感じ、住み続けてもらえる名古屋のまちづくりを、学生の皆さんと考えます。

### 課題3

#### 地域活動の 担い手不足を 解消したい！



少子高齢化の進展やライフスタイルの多様化を背景に、地域活動の担い手不足が深刻化しています。  
誰もが名古屋のまちの一員として、身近な地域活動に参加できるような方法を、地域の方々と実際に関わりながら探りましょう！

### 課題4

#### いのちのバトンを つなぎたい！



骨髄バンクドナーの登録ができるのは54歳まで。  
1人でも多くの人に骨髄バンクに関心を持ってもらい、将来を支える若年層にドナー登録してもらうにはどうすればいいだろう？移植を受けた患者、ご家族や関係機関の声を聴き、制度への正しい理解を広める方法を考えます。

プログラム詳細は表面の二次元コード・URLからチェック！

—プログラムを通して、皆さんの学びを応援します—

- 行政・地域等との連携に取り組む実践の場を提供します。
- 参加者同士のディスカッションや様々な主体との交流を通して、幅広い視野と発想力、行動力を身に付けます。

### プログラムに関するお問合せ先

「なごや学生社会課題解決プログラム」事務局  
(名古屋市 総務局 総合調整部 総合調整室内)  
電話:052-972-2217  
メール:gakusei.shakaikadai@gmail.com

